

第6学年 総合的な学習の時間 学習指導案

授業日	10月29日(金)	活動場所	6年2組教室	児童数	36名	指導者	宮本 裕佑
単元名	地域に学ぶ そして未来へ ～KANANの町の安全・安心を守ろう～						
探究課題	地域や社会を支える人々の思いと自己の将来						
単元の目標	地域や社会に関わる活動を通して、自分とのつながりに気づき、やりがいや喜びを実感するとともに、地域の安全・安心を守るために自分たちができることを考え、取り組むことができるようにする。						
児童観	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科の学習等では、課題解決に向けて自分たちで考え、自己決定し、実行する中で、主体的・協働的に活動に取り組むことができている。 ・地域の人々の様々な取組への思いを知り、自分の生き方に対する考え方が変わりつつある。 ・防災に関する地域の現状や家庭の意識から課題を見つけ、啓発に向けた活動意欲が高まっている。 						
教材観	<ul style="list-style-type: none"> ・地域には日本赤十字社やポンプ場などの防災に関わる施設があり、その取組から思いや願いを学ぶことができる。 ・自分たちが地域や社会にできることの中から防災・減災の活動に対して切実感をもって取り組むことができる。 ・活動するやりがいや喜びを実感することで、学んだことを自分の将来に生かすことができる。 						
指導観	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が新たな発見や疑問を見だし、今の自分の考えと比較し、社会の中で活用できる資質能力を身に付けさせる。 ・様々な情報から、目的や視点に合った情報を適切に選択させる。 ・学んだことを整理・分析し、まとめる作業を通して考えを深め、自分の生き方について考えさせる。 						
評価 規 準	知識・技能 (A)		思考・判断・表現 (B)			主体的に学習に取り組む態度 (C)	
	① 概念的な知識の獲得	地域の現状から課題を見つけ、安全・安心を守るための情報や命を守るための自分の行動を理解している。	① 課題設定	地域の安全・安心を守るための課題を設定し、対処方法や場面に合った行動を考え、見通しをもって追究することができる。	② 主体性協働性	地域の安全・安心を守るために自分にできることを見だし、他者と協働して防災対策等に向けた探究に取り組んでいる。	
	② 自在に活用することが可能な技能の獲得	地域の防災に関する情報を比較、分類、関連づけて命を守るための情報を選択し、啓発活動に取り組むことができる。	③ 整理分析	地域に関する防災の視点を明確にして、情報を整理・分析して関連づけ、考察することができる。	③ 将来展望・社会参画	防災・減災の啓発活動等からやりがいや喜びを実感し、安全・安心な町を未来へつなげるための行動を考え、実践しようとする。	

小単元「KANANプロジェクトを始動しよう」⑤

地域の人々の様々な取組への思いを知り、自分たちができることを情報収集し、地域や社会のためにできる活動に取り組むことができる。

A-1 A-2 B-1 B-3 C-1 C-2



小単元「KANANの町の安全・安心を守ろう」④

【本時28/40時間】

自分も地域の一員であることを自覚し、地域のためにできることを考えて積極的に関わる。

A-1 A-2 B-1 B-3 C-2 C-3

探究の過程

ゴール
地域の安全・安心のためにできる取組を考え、実行しよう。

課題の設定

防災・減災に関する課題をつかみ、自分たちが地域のためにできる取組について考える。

A-1 B-1

情報の収集・選択

課題解決のために地域の現状について情報収集を行い、必要な情報を選択・活用する。

A-2 C-2

整理・分析

課題解決のための活動計画を立て、実行する。

【本時28/40】

B-3 C-2

まとめ・表現

自分たちの取組について振り返り、課題に対して考えを深め、さらに新たな活動の目標をもつ。

C-2 C-3



小単元「自分の将来について考えよう」⑤

地域や社会を支えることのやりがいや喜びを実感し、これからの自分の生き方や行動について考える。

A-1 A-3 B-3 B-4 C-1 C-3

本時の目標	自分の身近な地域に合った防災マップ「安全・安心を守るんジャー」にするために、載せる情報を精選する。
--------------	---

児童の活動	○教師の支援 ◆評価規準及び評価の方法
1. 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 「安全・安心を守るんジャー」～ご近所編～の項目を考えよう。 </div>	○前時までの学習を振り返り、学習の見通しをもつことができるようにする。 ○アンケート結果を示すなどから、災害に対して切実感をもって考えられるようにする。
2. 防災マップにどんな項目を入れたらいいのかを班で話し合う。 ・災害発生時の連絡先 ・安全な避難行動 ・防災バッグの中身 ・家庭内の災害対策 ・避難後の生活 ・災害時の情報 等	○災害の状況が同じと想定される班分けをすることで、深みのある話し合いにする。 ○前時までの学習内容や保護者アンケート等の資料を根拠にして発表できるようにする。 ○視点を明らかにして話し合いができるようにする。 ・自分の身近な地域に必要な情報である。 ・優先順位を考えて選択した情報である。 ◆友だちの意見を参考に地域の安全・安心についての内容の優先順位を考えることができる。 (B-③ 発言・ワークシート)
3. 各班で考えた項目を発表し、クラス全体で意見をまとめていく。	○同じ地域でも同じ所、違うところがあることに着目し、話し合いができるようにする。
4. 本時の振り返りをする。	○振り返りシートに本時の学習を記入し、次時への見通しをもつことができるようにする。

本時の評価	「十分満足できる」と判断される状況	地域の安全・安心を守るマップの情報になっているか考え、具体的な理由をもって意見を述べている。
	「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	前時までの学習内容を振り返り、身近な地域に一番必要な情報はどれかという視点がもてるようにする。